
かりん保育園

令和6（2024）年度
福祉サービス第三者評価結果報告書

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定） 事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定） 1) 子ども一人ひとりを大切にし、全職員の愛情あふれる保育の中で遊びこむ保育をする。 2) 子ども、保護者、職員共に居心地のいい場としての保育園をめざす。 3) 職員間のチームワークを大切にし、切磋琢磨しながら各々が資質向上に務める。 4) 保護者や地域から信頼される開かれた保育園をめざす。 5) 法人間の交流を盛んに行い、意思統一を図る。
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上） (1) 職員に求めている人材像や役割 ・子どもの思いを受け止め、愛情深く接するようにつとめる。 ・職員間の調和を重んじ、他人の立場、思いを理解するようにつとめる。 ・保護者や地域支援等について、広い視野で思いやりのある対応をするようつとめる。 (2) 職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感) ・保育の専門家として、子どもや保護者の手本となり、常識的な配慮、発言をする。 ・報告、相談、連絡をしっかりと身につける。 ・子どものために労をいとわない。

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	園は、子どもが多様な体験ができるよう努め、保護者からは信頼を寄せる声が上がっています
	内容	園は、子どもの成長と保護者の安心につながるよう、日々業務に励んでいます。今回の利用者調査では、「家では経験できないことをさせてくれるので、子どもは園に行きたがっています」「ダンスや体操、サッカーなどいろんな体験をさせてくれる」など、子どもがさまざまな体験ができるよう尽力していることが伺えます。また、保護者からは「先生は優しく、何でも相談できる」「丁寧に対応してくれる」という声上がるなど、厚い信頼を得ています。園に対する保護者の要望は、面談や行事後のアンケートなどで積極的に把握するよう努めています。
2	タイトル	在宅で子育て中の親子のために子育て支援事業を実施し、さまざまなサービスを提供しています
	内容	在宅で子育て中の地域の親子のために、子育て支援事業に取り組んでいます。園庭開放や園内開放は月曜日から金曜日までの平日は毎日行っており、出前保育では近隣の公園に出掛け、そこに遊びに来ている親子に紙芝居や大型絵本などを披露しています。月1回行う誕生日会にも地域の親子を招き、身体測定もしています。園で行う人形劇や触れ合い動物園にも親子を招待しています。また、急な用事などで子育てができなくなった場合に備え、一時保育も提供しています。活動によってはまだ利用者は少ない状況ですが、利用した親子からは喜ばれています。
3	タイトル	園外活動を積極的に取り入れて自然に触れ合い、子どもたちの好奇心を育んでいます
	内容	園の近隣には自然豊かな尾根緑道や公園が点在しています。園では戸外活動を積極的に取り入れ、年齢に応じた活動を行っています。年齢によって出掛ける公園はそれぞれですが、異年齢クラスで散歩を楽しんだり、公園で昆虫観察や木の実拾いをしたりしています。散歩に出かける際には昆虫図鑑を持って、見つけた虫を調べたり、集めた葉や木の実などを使って製作をしたりしています。また、2歳児以上では、クラスごとに年に数回バス遠足の機会を設定し、園から少し離れた公園を利用することで、普段とは異なる園外活動を味わえるよう工夫しています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	災害発生時の園の対策である事業継続計画(BCP)を、速やかに職員や保護者などの関係者へ周知することを期待します
	内容	今年度、市の指導を受けて事業継続計画(BCP)を策定しました。策定して間もないということもあり、職員や保護者、地域の関係者にBCPの説明は、まだ行っていません。日本は災害の多い国です。万が一のことを考えると、災害が起きたときの園の対応策を記したBCPを職員や保護者などの関係者に周知することが求められます。子どもたちの命を守るため、また、事業が一時的に休止せざるを得なくなったときにも再開に向けて速やかに動き出すために、BCPを関係者に周知し、理解を深めることを期待します。
2	タイトル	自分が学ぶべき研修が明確になるよう、キャリアパスに記載の受講研修などを細かく区分けしてはどうかでしょう
	内容	キャリアパスは法人が作成したものであり、職員の職位を4つの等級に分けています。キャリアパスには、各等級で学ぶべき研修や資格が示されています。最上位の4等級は園長、その下の3等級は副園長や主任です。そして2等級に保育士と続いています。副園長、主任に至るまでが「保育士」として1つの等級となっていますが、新入職員と副園長、主任の一手手前の職員とは、経験や技量が異なります。このような差を加味して、2等級に属する保育士が受講する研修などを細かく区分けされてはどうかでしょう。自分が学ぶべき研修が明確になります。
3	タイトル	日常の保育業務などのマニュアルは、動画や画像を取り入れるなど、さらなる工夫を期待します
	内容	園では、各種マニュアルを取り揃え、全職員が適切に作業できるようにしています。マニュアルは文章で表しているので、十分に理解するには読み込みが必要です。そこで、マニュアルによっては動画や画像で表現されてはどうかでしょう。動画や画像を取り入れると、視覚的に情報が入るためイメージが湧きやすいと思います。子どもの適切な扱いや保護者対応、掃除や室内の整理整頓、給食の提供方法などの日常の保育業務に関しては、入社間もない職員もすぐ理解できるようマニュアルを工夫されることを期待します。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル①	入園後に子どもが園で使う物は園で用意するなど、保護者の負担を軽減しています	
内容①	入園後に子どもが園で使う布団カバーやカラー帽子、お道具箱（のり、はさみ、クレヨン、粘土、色鉛筆）などは、園であらかじめ用意しています。そのため、各家庭で用意する必要がなく、保護者から喜ばれています。同様に、3歳児クラスになったら使用する登園リュックや体操着も園で用意して、保護者の手間を少しでも省くことができるよう努めています。また、使用済みのオムツを園で処理していることも保護者から喜ばれています。これらの保護者の負担を軽くする園の取り組みは、入園時に保護者に説明しています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	保護者に、日々の保育を身近に感じてもらえるような取り組みを行っています	
内容②	日々の保育を身近に感じてもらえるよう、毎日の保育活動を保護者に伝えています。乳児クラスでは、子ども一人ひとりの様子を連絡帳で保護者に伝え、幼児クラスでは日々の活動を写真に撮り、クラスの出入り口のホワイトボードに掲示して活動の様子を伝えています。年度末の懇談会では、子どもの成長を振り返ることができるよう、1年間撮り溜めた子どもたちの写真をスライドショーとして流しています。また、保育に対する理解を深めてもらうきっかけとして保育参加を実施し、実際の保育園生活を保護者が体験できる機会を設けています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル③	系列園で連携してステーション保育を実施し、保護者に寄り添った保育を行っています	
内容③	園では、系列園同士が連携してステーション保育を導入しています。駅前にある系列園を拠点とし、朝7時から拠点の保育園で子どもを受け入れ、日中は園で過ごした後、17時30分に再度、拠点の保育園へ子どもを送り届けるという取り組みです。マニュアルを作成し、安全に配慮しながら送迎しています。3歳児以上は系列の幼稚園の園バスを利用し、1、2歳児は園が所有する車にチャイルドシートを設置して実施しています。自宅の場所によっては、子どもの送迎の負担を減らすことができるので、保護者が保育園を選ぶ際のきっかけになっています。	

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7)

No.	共通評価項目		
	カテゴリー1		
1	リーダーシップと意思決定		
	サブカテゴリー1(1-1)		
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	7/7
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している 評点(〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	○ 非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	○ 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	○ 非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	○ 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)		
	評価	標準項目	
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	○ 非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	○ 非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	○ 非該当
	カテゴリー1の講評		
	園の基本精神である保育目標の4つの約束は、職員や保護者に周知します 保育目標では、4つの約束として、「いいあたま」「やさしいこころ」「じょうぶなからだ」「がまんづよいこ」を育てることを挙げています。保育目標は、パンフレットや「入園のしおり」に掲載し、各保育室や事務室に文書を掲示し、誰でも確認できるようにしています。新たに入職した職員は、法人本部の新人研修で説明を受け理解します。在職の職員は、業務用手引書の「保育の手引き」の読み合わせを定期的に行って再確認しています。保護者には、入園説明会で園長から説明していますが、入園後もクラス懇談会で再度伝えています。		
	経営層は園内の保育業務を管理し、外部の会合にも出席します 園の経営層は、園長と主任職員となっており、経営層の職務は、職務分担表に明示されています。園長は、当園の最終責任者として園を統括管理しています。主任職員は園長を補佐するとともに、保育業務の管理と職員の指導監督をしています。園長は、市の法人立園長会や幼保小連携推進会議、ネットワーク会議などに出席しています。また、職員の資質向上を目指し、園内研修を企画しています。職員と面談した際は、職務上の迷いや悩みを解決したり、来年度の担当クラスの希望などを聞いたりしています。		
	園経営に関わる案件は法人理事会で決め、園業務は職員会議で決めています 施設の改修や高額の物品の購入など、園経営に関わる案件は、理事会に稟議書を提出し、理事会で決定します。事業計画は園内で作成し、理事長の承認を受けています。園内の保育業務、例えば指導計画や行事の立案などは、担当の係となっている職員が作成した計画書を職員会議に提出し、職員会議で検討したうえで、園長の承認をもって決定します。当日休みだった職員やパート職員は、職員会議録を閲覧したり、園長の説明を受けたりして理解します。保護者には園だよりや玄関の文書提示、時には口頭で伝えています。		

カテゴリー2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準项目实施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準项目实施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(○○)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー2の講評		
園の保育をより良くするため、保護者や職員、さまざまな会議から情報を得ています 保護者の園に対する要望は、日々の子どもの送迎時や行事後の保護者アンケート、保護者との個人面談などで把握しています。園は、どのような意見にも真摯に耳を傾けるようにしています。職員からの提案は、意向調査や面談で把握しています。地域の保育事業の現状や福祉事業全体の動向は、地域のネットワーク会議や市の法人立園長会、地域子育て連絡会などから情報を得ています。これらの会議を通して、周辺地域では待機児童が減って定員に空きが出ている保育園があること、幼稚園から認定こども園への移行状況などの情報を得ています。 中・長期計画に従って、今年度は園庭の改善を事業計画に盛り込みました 中・長期計画は令和3年度から令和7年度までの計画を策定しています。中・長期計画に従って、今年度は園庭にある砂場の砂の補充や園庭のゴムチップの舗装を実施しました。年度単位の事業計画は、前年度の取り組みを参考に、園長と主任が検討して策定します。事業計画には、子どものクラス編成や保育目標、年間の行事、栄養管理、安全対策、職員の処遇、研修計画、施設管理など取り組む事業を項目別に分けて明記しています。今年度は、これまでコロナ禍で実施できなかった子育て広場を毎月計画しています。 園の事業をスムーズに実施できるように、係分担を決めています 園の事業などをスムーズに実施できるように、親子プレイデー、お泊り保育、芋掘り、運動会などの園行事、避難訓練、木育・絵本・紙芝居管理など、それぞれの業務について係分担を決めています。行事などの終了後はその都度振り返りを行い、職員会議で各係の担当者から良かった点、改善点などの報告を受け、次年度に生かすようにしています。昨年度の事業報告には、園庭の整備計画が未実施であることが記載されていますが、今年度の事業計画に引き継がれています。駐車場の利用や自転車置き場の屋根の設置などについて報告されています。		

カテゴリ-3		
3 経営における社会的責任		
サブカテゴリ-1(3-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している。	○非該当
サブカテゴリ-2(3-2)		
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	○非該当
サブカテゴリ-3(3-3)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	○非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当

カテゴリー3の講評

保育者としての心得は、「保育の手引き」や「受け入れの心得」で確認しています

保育に携わる者としての守るべき法、規範、倫理については、業務用手引書「保育の手引き」や「受け入れの心得」の読み合わせをして確認しています。不適切保育の報道があったときは、その内容を職員間で確認しています。子どもの個人情報の扱いについても適正に行うことを確認しています。年度後半には「人権擁護のためのセルフチェックリスト」で自己チェックをして自らの保育を振り返っています。虐待を受けている疑いのある子どもを発見したときは、市の「子ども家庭支援センター」に連絡して、センターと連携して対応することとしています。

保護者や近隣からの苦情があった場合は、速やかな対応を心掛けています

園の苦情解決制度については、重要事項説明書に明記し、入園時に保護者に説明しています。苦情や意見があった場合は、真摯に受け止め、苦情解決の手順に沿って対応しています。玄関には保護者が苦情や要望を投函できる「ご意見箱」を設置しています。苦情や要望があった場合は、速やかな対応に努め、相手には丁寧に謝罪しています。園外に迷惑がかかってしまった場合は、再発防止に向けて、時には保護者に協力を仰ぐこともあります。また、ホームページで各保育室や園庭など園紹介の動画を掲載し、園の透明性を図っています。

地域の子育て中の親子を園に招き、楽しい時間を提供しています

地域の子育て中の親子に向けて、「子育てひろば」を開催しています。園内開放や園庭開放、誕生会へ招待し、育児相談はいつでも応じています。時には、人形劇や触れ合い動物園などの園行事に、地域の子どもたちを招待しています。出前保育では、紙芝居や大型絵本を持って近隣の公園に出掛け、そこに遊びに来ている親子に楽しんでもらっています。また、園が地域の一員としての役割を果たすために、小学校就学については「幼保小連携推進連絡会」に参加し、その他、地域との連携については「地域ネットワーク連絡会」に参加しています。

カテゴリー4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリー1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリー4の講評		
災害対策に優先順位をつけて、子どもたちの安全を守っています 子どもの安全を阻害するリスクについて、まず第1に地震と感染症だと考えています。最近、日本各地で大きな地震が起きているため、警戒しています。地震は、子どもが保育室にいるとき、散歩に出掛けているときなど、いつ起こるか分かりません。その時の状況を見て、職員の指示を良く聞いて行動するように子どもたちに指導しています。また、新型コロナウイルス感染症が収まってきたとはいえ、インフルエンザや手足口病など、他の感染症の流行に警戒しています。玄関には非接触型体温計を置いて、常に子どもや保護者の体温をチェックしています。 今年度作成した事業継続計画(BCP)は、これから関係者への説明する予定です 避難訓練年間予定表に基づき、毎月、地震や火災、不審者侵入などを想定して避難訓練をしています。消防署や警察署の協力を得て実施することもあり、消防署からは初期消火やAEDの使い方の指導、警察署からは不審者侵入対策の指導を受けています。事業継続計画(BCP)は市の指導を受けて、今年度作成しました。関係者への周知は、今後の課題となっています。保護者には入園説明会で園の防災、防犯対策を説明しています。園内、園外の危険箇所はヒヤリハット表で確認し、子どもたちのけがを未然に防ぐ努力をしています。 個人情報の管理には厳しく取り組み、個人情報が漏洩しないようにしています 情報管理については、個人情報保護規程に則って管理しています。子どもの写真などは園内掲示やホームページで利用していますが、入園時に保護者に説明し、承諾してもらっています。また、園で知り得た情報を園外で漏らしてはいけないことについても、保護者や職員、実習生、ボランティアから誓約書を得て遵守しています。園長のパソコンやクラスのタブレットにはパスワードを設定していますが、指導計画やマニュアルなどは、職員が業務上活用できるようにしています。その他の重要な書類は事務所の鍵のかかるキャビネットで保管しています。		

5 職員と組織の能力向上			カテゴリ-5
サブカテゴリ-1 (5-1)			
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	11/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○ 非該当	
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○ 非該当	
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(〇●)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○ 非該当	
○あり ●なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○ 非該当	
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○ 非該当	
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○ 非該当	
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○ 非該当	
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○ 非該当	
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金、昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○ 非該当	
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○ 非該当	
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○ 非該当	
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○ 非該当	
サブカテゴリ-2 (5-2)			
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○ 非該当	
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○ 非該当	
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○ 非該当	

カテゴリー5の講評

職員を採用するために、さまざまな方法で応募を募っています

職員の採用は、ハローワークや保育士養成校、人材派遣会社へ求人票を出し、依頼をしています。また都や市の就職フェアに参加して園のブースを設け、求職者に園の説明をしています。また、園の実習生に声を掛けたり、ホームページで募集したり、ポスターを掲示したりして、職員の確保に努めています。ポスターを見て近隣の人が応募してくることがあります。職員とは毎年、面談で意向調査を行い、担当したいクラスなどの希望を聞いています。職員の配置は、経験年数や能力、チームを組む職員との相性を加味して決めています。

人材育成計画は保育能力だけでなく、さまざまな能力を育成するために必要です

職員のキャリアパスは法人で策定しています。それぞれの等級で身に付けておく必要のある研修内容を示しています。キャリアパスの基、職員が自己評価表を作成し、今年度の成長目標を設定することで個人別育成計画にしていますが、園にはまだ人材育成計画はありません。個人別育成計画を作成する指標として、園は職員にどのような研修を受講し、どのような知識や素養を備えて成長してほしいのか、長期的、総合的な観点で人材育成計画を作られてははいかがでしょうか。職員も自分の立ち位置を確認し、将来を見据える参考となるのではないのでしょうか。

職員が働きやすい職場環境を作るよう努力しています

職員の育成は研修の受講のほか、職員の日頃の保育の様子を園長や主任が確認し、アドバイスをすることで行っています。また、園長が職員と面談したときは、職員の仕事を認めることで業務への意欲と働きがいの向上につながるよう努めています。休暇については、職員が休暇の希望を主任に事前に申請することでシフト表に反映させています。職員の健康管理は看護師が行っており、ストレスなど体の不調がある場合は、外部の医療機関の受診も勧めています。園では、職員の働きやすい職場環境を作るよう努力しています。

カテゴリー7	
7 事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)	
昨年度、保育室内の様子を常時確認するために、「見守りカメラ」を各保育室に設置しました。最近では子どもの園内置き去りや職員の不適切な保育などの報道がありますので、そうしたことの起きないように「見守りカメラ」を設置しました。それにより保育室の様子が事務室のモニターで確認できるようになりました。保護者から子どもの持ち物の間違いや、子ども同士のトラブルの問い合わせがあった場合、モニターでその時の状況を確認して回答し、保護者に報告し納得してもらうことができました。こうした保護者からの問い合わせは、職員会議で報告し「見守りカメラ」の効果を確認しました。今年度も継続して「見守りカメラ」で保育室内の様子を確認しています。	
目標の設定と取り組み	☒ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ☐ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ☐ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	☒ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ☐ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	☒ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ☐ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
昨年度取り組んだ目標は、各保育室に「見守りカメラ」を設置して、保育室内の様子を確認することです。保育室内での子どもたちの活動状況や職員の業務の様子を確認することができました。それに伴い、保護者からの問い合わせに対して、「見守りカメラ」でその時の状況を確認して報告できました。「見守りカメラ」を設置した検証は、職員会議で職員全員で確認しました。今年度も継続して「見守りカメラ」で保育室内の様子を確認しています。	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

少子化の影響で、保育園に入園する子どもの人数が少なくなっています。その一方で、近隣には新規開設園も増え、当園は開園以来初めての定員割れの状況となりました。そこで昨年度は、園児獲得のために園の良さをアピールすることに取り組みました。園が子育て支援事業として開催している「出前保育」や「子育てサロン」を積極的に行いました。「出前保育」では、近隣の公園に出向き、そこに遊びに来ている地域の子育て中の親子と園の子どもたちが一緒に遊んだり、紙芝居や大型絵本を見て楽しんだりしました。「子育てサロン」では、地域の子育て中の親子の参加を募り、子どもと職員が一緒に遊んだり、保護者には子育て相談に応じたりして、育児の負担や不安の軽減に努めました。担当したのは、園長、主任、正職員、フリーの職員です。参加者は少なく、その中から入園につながることはありませんでしたが、今年度も継続して地域の子育て支援に尽力しています。

目標の設定と取り組み	☒ 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った ☐ 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった ☐ 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	☒ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った ☐ 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む) ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	☒ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた ☐ 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない ☐ 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評価の選択に関する講評

昨年度は、園児獲得に向けて園の良さをアピールすることに取り組みました。開園以来の定員割れを解消すべく、職員が一丸となって、子育て支援事業として実施している「出前保育」や「子育てサロン」を積極的に行い、地域の子育て家庭を支援するとともに、園の取り組みを知ってもらう機会としました。参加者の中から入園に至った家庭はありませんでしたが、参加者からは好評を得て、手応えを感じることができました。また、ミーティングや会議を実施して反省点や検討課題を洗い出すことができ、各事業の充実を図ることができました。今後さらに、園独自の取り組みを広げていきたいと考えています。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目（カテゴリー6-1～3、6-5～6）

No.	共通評価項目	
	サブカテゴリー1	
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		
評点(〇〇〇〇)		
	評価	標準項目
	☒ あり ☐ なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している
	☒ あり ☐ なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている
	☒ あり ☐ なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している
	☒ あり ☐ なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している
〇 非該当		
サブカテゴリー1の講評		
ホームページやパンフレットで園の情報を発信しています 園のホームページでは、園で掲げている4つの約束「いいあたま」「やさしいところ」「じょうぶなからだ」「がまんづよいこ」を挙げ、それぞれの言葉の説明を掲載しています。また、「園見学動画」を掲載し、園内や園庭の様子を動画で紹介しています。他にも、年間行事のコーナーでは子どもの写真を添えたり、保育園での一日の流れを年齢別で記載したりして、園での活動をわかりやすく紹介しています。見学时に配付するパンフレットにも園の特徴や概要、一時保育、子育て相談など、利用希望者が知りたい情報を掲載しています。 市が運営する「まちだ子育てサイト」に園の情報を提供しています 市の「まちだ子育てサイト」に園の情報を提供しています。市内を5つのエリアに分けて、エリアごとに各保育園で行われるイベント情報を掲載しています。市が月1回発行している子育てひろばカレンダーには、マイ保育園事業実施園であることや、園で行っている子育て支援事業である園庭開放や園内開放、育児相談、誕生会などのイベントへの参加について、日時を利用希望者に向けて情報提供しています。また、都の民間保育園協会のサイトでも、園の概要や保育内容について紹介しています。 見学希望者は随時受け入れ、保育の様子がわかるように丁寧に案内しています 園見学は電話にて受け付け、日程調整を行っています。日程が決まると、子どもの名前や生年月日、連絡先を見学者ノートに記録します。見学の案内は園長が行い、保育室内を案内しながらパンフレットに沿って保育方針や年間行事などを説明しています。1回あたりの見学者は2、3家庭までとしており、30分ほど時間をかけて説明します。園で実施している子育てサロンや誕生会への参加を促したり、育児・離乳食などの相談に応じていることも伝えています。また、職員や在園児には見学者が来ることを事前に共有し、元気な挨拶で迎えています。		

サブカテゴリー2			
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○ 非該当	
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○ 非該当	
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○ 非該当	
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○ 非該当	
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○ 非該当	
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○ 非該当	
サブカテゴリー2の講評			
入園前の説明会や面談で子どもの状況を確認し、記録しています 入園が内定した家庭には、入園時発育状況調査票や児童票などを郵送して予め記載してもらった上で、入園前説明会で提出してもらっています。入園時発育状況調査票は0、1歳児用と2～5歳児用があり、また、児童票には保育申込時間や家族構成、主な遊び場、遊び相手、好きな遊びや玩具など生活環境について記載してもらいます。入園前説明会と同日に行う面談の際に、保護者が記入した内容を担任が詳しく確認し、子どもの状況把握に努めています。他には、緊急連絡時の優先順位を記載する連絡カードなどを記入してもらいます。 入園前の説明会では重要事項などを説明し、書面で同意を得られるようにしています 入園前に個人面談を実施し、基本的な園のルールや重要事項などは入園のしおりを基に説明しています。個人面談では、0歳児やアレルギーがある子どもには、看護師や栄養士も面談に立ち会い、聞き取りを行っています。面談は主任、副主任、乳児リーダー、幼児リーダーが担当し、面談時に記録した面談記録は、入園後の援助や関わりに生かすようにしています。説明会後は、園内掲示物への子どもの名前の表示や、ホームページへの子どもの写真掲載など、子どもの個人情報の使用について保護者から承諾書を提出してもらっています。 子どもの負担軽減のために、入園直後の保育時間に配慮しています 入園直後は、1週間程度の慣れ保育を実施しています。子どもの年齢に合わせて慣れ保育時間の目安を設定し、保護者に伝えていきます。また、保護者の就労状況や子どもの保育園生活への慣れ具合に応じて慣れ保育の期間を調整し、子どもの様子を保護者と共有しています。園では、子どもが新しい環境に慣れることを第一に考え、不安やストレスが生じないように努めています。また、慣れ保育の期間中は、担任が不在にならないよう勤務シフトを工夫し、保護者のお迎えの際には子どもの様子を詳しく伝え、保護者の安心につなげていきます。			

サブカテゴリ-3		
3	個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 13/13
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(〇〇〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、保育の過程を踏まえて作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直しをしている	○非該当
評価項目3 子どもに関する記録を適切に作成する体制を確立している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報について、職員間で申し送り・引継ぎ等を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりに対する理解を深めるため、事例を持ち寄る等話し合う機会を設けている	○非該当
サブカテゴリ-3の講評		
子ども一人ひとりの心身の状況や生活状況を、園で決められた様式に記録しています 子どもの発達や生活の状況は、入園時の面談で保護者から提出してもらった入園児発育状況調査票や児童票などで把握し、健康カードや個人記録など園で定められた書式に記録しています。記録した内容は、園長、主任、副主任、担任、看護師、栄養士が確認し、情報を共有しています。年に2回実施する職員の個人面談で、職員が事前に保護者へ伝えたいこと、聞きたいことを個人面談記録に記載し、クラスリーダーの確認を得てから、保護者と面談を行います。また、面談時に聞き取った保護者からの要望などは記録を残すようにしています。		
指導計画は全体的な計画をもとに、子どもの成長発達に即して作成しています 「全体的な計画」を基に、年間指導計画、月間指導計画、週案などの指導計画を年齢別に作成しています。「全体的な計画」は、園長、主任が作成し、事務室内に提示して職員全体に伝えています。年齢ごとの年間指導計画や月間指導計画、週案は、クラス担任が作成し、園長、主任、副主任、乳児リーダー、幼児リーダーが確認し、見直し修正するようにしています。乳児や配慮が必要な子どもについては、個別の計画を立て、発達の状況などを詳しく記録し、適切な関わりができるようにしています。		
子どもに関わる情報を記録し、職員間で共有しています 子どもの状況は、日誌や個人記録に記入しています。日々の子どもの情報は、登園時に保護者が記入している受け入れ簿や連絡帳、視診表や職員連絡ノートなどで共有しています。視診表は保護者からの伝言や保育中の子どもの様子を記載し、前日の引き継ぎ事項がある場合は当日の視診表に記載し、継続して子どもの様子を把握できるようにしています。職員連絡ノートは事務室にあり、保護者や子ども、職員の状況など全職員に周知したい内容を記入し、職員は出退勤時に必ず見るようにして情報共有に努めています。		

サブカテゴリー5			
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている	○ 非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○ 非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○ 非該当	
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○ 非該当	
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○ 非該当	
サブカテゴリー5の講評			
子どものプライバシーを守り、羞恥心に配慮した保育を行っています 入園前説明会で子どもの個人情報を利用する目的を伝え、個人情報使用承諾書に利用目的ごとに承諾の可否を保護者にチェックしてもらっています。また、子どもが園で体調を崩したときは、保護者に電話で連絡をした上で医療機関を受診しています。乳児クラスでのおむつ替えは、衝立を使用して周りからの視線を遮るよう配慮しています。3～5歳児のトイレは扉が付いた個室となっており、羞恥心に配慮しています。排泄に失敗してしまった際は、廊下に出て大人用のトイレを利用して速やかに着替えを行い、周囲から気づかれないようにしています。 全職員が虐待防止や育児支援について共通認識をもって、保育に取り組んでいます 虐待防止に向けて、マニュアルを作成し会議で読み合わせを行っています。外部研修に参加した際には、職員会議で報告し職員間で共通認識をもって取り組むようにしています。保育関連機関の「人権擁護のためのセルフチェックリスト」を用いて自己チェックを行い、保育士としての自覚を維持するよう努めています。日々の子どもの様子から、虐待や育児困難と感じられた時には、担任から園長、主任に報告し、必要時には関係機関と連携する仕組みを整えています。虐待などの報道があった際は記事などを印刷し、職員同士で共有しています。			

サブカテゴリ6	
6 事業所業務の標準化	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点(○○○)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている ○ 非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている ○ 非該当
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している ○ 非該当
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点(○○)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている ○ 非該当
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている ○ 非該当
サブカテゴリ6の講評	
手順書やマニュアルなどを作成し、業務の標準化を図っています 入職時に全職員へ「保育の手引き」を配付し、保育サービスの標準化を図っています。園で一日の保育の流れから始まり、基本的な生活習慣の年齢ごとの目安、保育担当の職務内容、清掃、けがや病気時の対応など、園での業務の指針となる内容が記載されています。園で初めて業務にあたる職員も、すぐに業務に対応できるように詳細を取り決めています。年に1回は職員会議で「保育の手引き」の読み合わせを行って、手引きの内容を再確認するとともに、さらなる理解に努めています。	
マニュアルや手引書は定期的に点検、見直しを行っています 業務に必要な各マニュアルを作成し、事務所に保管しています。職員は不明なことがあった場合、事務所でいつでも確認できるようにしています。マニュアルや手引書は年度末に園長、主任、副主任が見直しを行い、変更点などあった場合は修正加筆を行い、年度初めに全職員へ配付しています。また、訂正箇所があった場合は、どこを変更したかわかるよう職員会議で説明しています。日常の保育の中で対応に迷うことがあった際は、速やかに話し合いを行い、業務の標準化が図れるようにしています。	
職員や保護者からの提案や意見を柔軟に取り入れるよう努めています 日常の保育の中で、職員が気付いたことがあったときは、各会議で改善に向けて話し合いを重ねています。また、懇談会や個人面談での保護者から提案や要望にも積極的に耳を傾けて、対応を検討しています。また、行事後は保護者アンケートを行って行事の反省をするのと同時に、次の行事へ生かしています。例えば、今までは運動会ではクラスごとに保護者席を設けていましたが、固定席だったため写真やビデオ撮影がしにくいとの声が保護者から上がったため、出場クラスや演目に合わせて保護者席を入れ替え制に変更しました。	

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サブカテゴリー4		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況	36/36
サービスの実施項目			
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(○○○○○○)	
評価	標準項目		
◎ あり ○ なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○ 非該当	
◎ あり ○ なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○ 非該当	
◎ あり ○ なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○ 非該当	
◎ あり ○ なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○ 非該当	
◎ あり ○ なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○ 非該当	
◎ あり ○ なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	○ 非該当	
評価項目1の講評			
子ども一人ひとりの発達を把握し、保育を行っています 子ども一人ひとりの発達過程を記録し、子どもの全体的な姿を把握したうえで保育を行っています。月間指導計画、週案には評価、反省を記録し、子どもの成長の様子を記録します。子どもが主体的に興味を持って活動できるように、各保育室内には、それぞれの子どもの発達に合わせた玩具や絵本を用意し、子どもの手に届くところに配置しています。3歳児クラスから当番活動を取り入れ、当番はみんなの前に立って、朝の集まりで挨拶したり、給食の献立を発表したりしています。5歳児クラスでは、給食の前にテーブルを拭いて準備を手伝っています。 子ども同士のトラブルは、気持ちを汲み取り、自分たちで解決できるように導いています 小さい子どもは自分の気持ちを言葉で表現できないことも多く、発達の過程で子ども同士のトラブルが生じることがあります。職員は手振り身振りを添えて、子どもの気持ちを最優先にして考えるようにしています。「このおもちゃ、ほしかったんだよね」と代弁して、子どもが「貸して」と言うなど、自分の気持ちを相手に伝えられるように支援しています。また、幼児では、互いの気持ちを聞きながら、子ども同士で解決できるように声掛けをしています。子どもたちがどうしたらよいかわ自分たちで考え、仲直りができるよう働きかけています。 小学校との交流を行い、小学校と連携をとって就学を支援しています 年に1回、小学校が主催の交流会に参加しています。交流会の内容は毎年異なりますが、教室の使い方を教えてもらったり、校内を案内してもらったり、体育館でゲームをしたり、子どもたちが小学校へ通うことが楽しみに思えるような交流会となっています。子どもたちが就学する小学校とは、担任が小学校の職員と電話で子どもの様子を引継ぎ、保育園から小学校への移行が順調に進められるようにしています。5歳児はカリキュラムの一つである「線遊び表」という取り組みを通して、鉛筆を持って字を書く練習をしたりして、就学へ向けた準備をしています。			

2 評価項目2

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当

評価項目2の講評

朝の受け入れ時に、前日の降園から登園までの子どもの様子を把握しています

登園時の子どもの受け入れでは、受け入れ簿に迎えの時間や迎えに来る人、伝達事項などを保護者に記入してもらい、前日の降園から登園までの子どもの様子を聞き取っています。職員は、聞き取った内容や子どもの様子などを視診表に記載して担任に引き継ぎ、その日の活動に反映させています。0、1歳児の連絡帳は、24時間の生活リズムを記録できるようになっており、その内容から午前寝なども予測しています。体調が悪そうな子どもについては、担任が検温して様子を看護師へ伝え、子どもの体調が急変した場合に備えています。

基本的な生活習慣は、発達に合わせて自分からやりたい気持ちになるよう工夫しています

食事、着替え、排泄などの基本的な生活は、子どもの発達段階に応じた支援の方法で進めています。0歳児の着替えやおむつ交換は、おむつを取り換えることで心地よさを感じられるように、「着替えると気持ちいいね」などの言葉掛けをしながら進めています。トイレトレーニングは、1歳児から進めています。午睡後、おむつが濡れていないときは便座に座らせ、無理なくトイレに慣れていくことができるようにしています。また、箸は幼児クラスから使い始めます。園で行っていることを保護者に伝え、家庭と連携を取りながら進めています。

午睡は、子ども一人ひとりの生活リズムや年齢、活動内容によって柔軟に対応しています

午睡は、子ども一人ひとりの生活リズムや年齢、活動内容によって柔軟に対応しています。0、1歳児では、午前中でも眠くなってしまふこともあるので、その場合は子どもの状況に合わせて対応しています。午睡時間に、眠れない、眠りたくないという子どもがいた場合は、休息をとることも大切と考え、横になり体を休めるように伝えています。また、なかなか寝付けない子どもには、低い囲いをセットして、落ち着けるように配慮しています。5歳児クラスでは、就学に向けて年明け頃から午睡をしない予定です。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉(発声や喃語を含む)や表情、身振り等による応答的なやり取りを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

子どもたちの自主的な遊びを尊重できるよう、環境を整えています

保育室には子どもたちが自主的に遊べるように絵本やおもちゃ、ブロックなどを子どもの手の届く場所に配置し、年齢に合わせた保育室の活用に取り組んでいます。0歳児クラスは月齢の早い子ども、遅い子どもでは活動に大きな差があるので、ハイハイの場所と歩行の場所を分けています。1歳児クラスは室内をコーナーで分けて、遊ぶ場所と食事の場所に区切りをつけています。2歳児以上のクラスは、年齢に応じた絵本や紙芝居、玩具を配備し、子どもたちが自主的に遊べるよう環境を整えています。

3歳児以上のクラスでは、外部講師による体操教室、ダンス教室を行っています

3歳児以上のクラスでは、外部講師による体操教室、ダンス教室を行っています。外部講師は系列幼稚園の先生が担当し、ダンスや体操の指導をしています。体操教室は毎週水曜日に行っています。体操教室ではマット運動や縄跳び、組体操などを行っています。運動会では、5歳児はV字バランスやひこうき、タワーといった組体操に取り組んでいます。4歳児はパラバルーンに取り組み、みんなで協力して活動する経験をしています。体操教室やダンス教室では、子どもたちが集団での活動に馴染めるようにしています。

戸外活動を通して、自然の中で季節を感じられる体験ができるよう取り組んでいます

近隣には緑道や公園がたくさんあり、戸外活動により子どもたちは四季の移り変わりを体験しています。春には桜を見たり、秋には松ぼっくりやどんぐりを拾ったり、落ち葉を踏み足から伝わる感触やカサカサという音を楽しんだりしています。5歳児クラスでは片道40分ほどの公園まで出かけ、園外活動を通して体力をつける活動を行っています。公園までの散歩で、交通ルールを学べるようにしています。また、公園を利用する際に自分たち以外にも公園を利用する人がいることを伝え、一緒に仲良く遊べる気持ちを育てられるようにしています。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している			評点(〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している		○ 非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している		○ 非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている		○ 非該当
評価項目4の講評			
子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事などを実施しています 運動会、バス遠足、芋掘り、餅つき、フェスタ(生活発表会)など、季節に合わせた行事を行っています。家庭で経験することができない活動は、子どもに貴重な体験となります。園では、行事は日々の保育活動の延長線としてとらえています。3歳児からダンス教室や体操教室を取り入れ、年齢に合わせて活動を行っています。3歳児クラスは4歳児クラスの出し物のパラバルーンを運動会の後に実体験しています。4歳児クラスは、5歳児クラスが披露した組体操を体験しています。行事を遊びの延長としてとらえ、無理なく行事に参加できるようにしています。 子どもたちがやり遂げる達成感を味わえるように取り組んでいます 運動会は乳児クラスと幼児クラスで分けて実施しています。乳児クラスでは、保護者と一緒に楽しめるように親子競技を行っています。幼児クラスでは体操教室で練習してきた活動を発表しています。5歳児は組体操、4歳児はパラバルーン、3歳児は障害物競争を発表し、子どもたちが力を合わせることで達成感を味わっています。ハロウィンでは各クラスで交流訪問し、クラスごとの仮装を披露して楽しんでいます。行事に向けて友達と協力する気持ちを育んだり、保護者に見てもらったりする中で、達成感や満足感を味わえるようにしています。 行事について、保護者の理解を得られるように努めています 入園前面談時に入園のしおりを保護者に渡し、どのような行事があるか説明をしています。5月に行われる保護者会でも、年間行事日程について説明をしています。保護者には、入園前説明会や園だよりを通じて、子どもたちが行事に取り組む様子を伝えています。行事の様子は、パスワードを入力すると閲覧することができる保護者専用ページで紹介しています。また、保育室の出入り口のホワイトボードでも写真を掲示し、園内活動の様子を伝えています。保護者に子どもたちの成長の姿を伝える機会になるよう努めています。			
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている			評点(〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている		○ 非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている		○ 非該当
評価項目5の講評			
保育時間の長い子どもが安心して過ごせるように配慮しています 朝7～8時の時間帯は、1階の1歳児クラスの部屋で異年齢保育を行っています。夕方の延長時間の18時以降は、園の出入り口に近い2歳児クラスの部屋で過ごしています。18時以降の利用の子どもには補食を、19時以降の延長時間を利用する子どもには夕食の代わりに軽食を提供しています。延長時間の過ごし方については、静と動の時間の割合を考え、静の時間が多くなるよう過ごし方を工夫しています。日常の保育の中で、異年齢の関わりを多く持つことで思いやりや優しい心が育まれ、家族のような自然な関わりができるようにしています。 職員間で子どもの様子を共有し、降園時に子どもの様子を保護者へ伝えています 職員は、園での子ども一人ひとりの様子を記録した視診表で情報を共有し、降園時に保護者に伝えています。各クラスからの連絡事項は、職員連絡ノートに記録し、全職員が必ず確認しています。併せて、保護者が朝記入する受け入れ簿により出欠状況や迎えの時間、迎えに来る人について把握できるようにしています。遅番の職員は、保護者への伝達漏れがないようにしています。園では遅番の職員を固定せず、シフト制で遅番を担当しています。シフト制で保育を行うことで、全園児のことを全職員で把握し、子どもたちが安心して過ごせるよう努めています。			

6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○ 非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○ 非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○ 非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○ 非該当
●あり ○なし	5. 保護者や地域の多様な関係者との連携及び協働のもとで、食に関する取り組みを行っている	○ 非該当

評価項目6の講評

メニューや味付けを工夫し、体調やアレルギーに応じた食事を提供しています

法人で統一した献立を作成し、旬の食材を多く取り入れてバランスの良い食事の提供を心掛けています。少食の子どもや好き嫌いのある子どもには、給食提供時に量を減らすようにし、完食できたことに喜びを持てるようにしています。誕生会の日には、野菜の切り方をいつもとは違う星形に切るなど、目で見て楽しめる工夫をしています。0、1歳の離乳食の子どもについては、喫食状況を把握するために栄養士は保育室を巡回し、子ども一人ひとりの咀嚼や嚥下の様子を見ながら進めています。

食物アレルギーのある子どもには除去食を提供し、誤食防止を徹底しています

アレルギーのある子どもには、アレルギーマニュアルに沿って対応しています。入園前面談で食物アレルギーについて聞き取りを行い、栄養士も面談に同席しています。アレルギー対応は、主治医の診断書に基づき、除去食または代替食で対応しています。アレルギーのある子どもの保護者には、毎月献立表を渡し、アレルギー食材を使用する日には除去食なのか代替食なのか、赤字で書き込みをして保護者に確認しています。給食提供時では、トレーを別にして名札をつけて配膳します。食事中もテーブルを別にして誤食防止に努めています。

食育年間計画を作成し、食について関心を持てるよう取り組んでいます

食育年間計画を作成し、乳児と幼児、それぞれにねらいを定めて食育に取り組んでいます。食育年間計画は栄養士が作成し、園長、主任、副主任、乳児リーダー、幼児リーダーが確認しています。栽培活動としてプランターを使用し、夏野菜のトマト、キュウリ、ナス、オクラを育て、収穫する喜びを味わえるようにしています。果物もプランターで育て、今年はスイカを育てました。今後は椎茸を育てる予定です。また、近隣の畑で芋掘りを体験したり、4、5歳児クラスは餅つきを行い、正月用の鏡餅を作ったりして日本の伝統行事への関心を高めています。

7 評価項目7

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○ 非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○ 非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○ 非該当

評価項目7の講評

子どもが自分の健康や安全に関心を持てるよう支援しています

子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、事故やけがを予防、防止できるよう支援しています。幼児クラスが使用する手洗い場には、手洗いの手順を絵カードで掲示しています。外遊びの活動後は、汗をかいたら着替えをするなど健康管理ができるよう声掛けをしています。歯磨きについては、市から歯科衛生士に訪問してもらい、指導を受けています。歯ブラシの使用法では、感染症予防に配慮し、手洗い場に並ぶ際には横の距離を保つようにして、水しぶきが飛び散らないように指導しています。

職員は、子どもたちの健康を守るため園内研修を実施して、知識を深めています

熱性けいれんのある子どもの対応薬や食物アレルギーのある子どものアナフィラキシーに対する補助治療剤を保護者から預かっています。保護者は、園長と看護師と面談後、与薬依頼書に記入の上、薬を預かるようにしています。園内で受診が必要な事故が起きた場合には、看護師、園長、主任で確認して保護者に連絡をしてから受診するようにしています。園では、嘔吐処理、熱中症、熱性けいれんについての園内研修を行っています。園内、保育室の消毒、換気やおもちゃの消毒なども徹底して行っています。

保護者と連携して、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組みを行っています

乳幼児突然死症候群の防止に対しては、0歳児では呼吸チェックのセンサーを導入した上で、5分おきに呼吸や寝相などのチェックを行っています。1、2歳児については、10分おきと15分おきに確認をしています。これらの園で行っている乳幼児突然死症候群の予防策は、入園前の面談の際に保護者へ説明しています。そして、毎月ほけんだよりを発行し、季節によって流行する感染症や熱中症などの症状や予防のポイントを保護者に伝えています。子どもたちが健康に過ごせるように、家庭と連携して取り組んでいます。

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている			評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている		○ 非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている		○ 非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている		○ 非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている		○ 非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している		○ 非該当
評価項目8の講評			
保護者の就労など状況の把握に努め、丁寧な対応を心掛けています 保護者の就労状況や健康状態による急な保育時間の変更には、柔軟に対応しています。2歳児まで記載している毎日の連絡帳や日々の送迎時の対話、年に2回行う個人面談などを通して、保護者の育児に対する悩みや不安を把握できるよう努めています。また、日々の保護者対応は担任が行いますが、内容によっては主任や園長が関わるようにして丁寧な対応を心掛けています。日々の連絡帳に書いてあることや申し送りでのやり取りの内容で、大切なことは全職員に周知、共有し、細やかな対応に努めています。 保護者同士が交流し、つながりが持てるような機会を設けています 保護者同士が交流し、親睦を深めることができる機会を設けています。年に2回のクラス懇談会や親子プレイデイといったイベントを行っており、保護者同士が関わりを持てるきっかけとなっています。5月の懇談会は、新しいクラスになって初めての顔合わせということもあり、自己紹介をしたり、育児の悩みを話し合ったりできる場としています。また、6月の親子プレイデイでは、普段の保育で子どもたちが戸外遊びで利用している公園へ出かけたり、製作を行ったりして保護者同士が親睦を深めるとともに、保育内容への理解を深める機会となっています。 懇談会や個人面談を通して、子どもの育ちを共有しています 懇談会や個人面談を通して、子どもの成長発達について保護者と共通認識を持てるようにしています。懇談会では、普段の子どもたちの様子を撮影した動画やスライドを見てもらい、保護者が園生活に興味を持ってもらえるようにしています。また保育参加週間を設定し、園生活を体験するような取り組みも行っています。また、毎日の活動内容をホワイトボードに記載したり、写真を掲示したりして、保護者への子どもの様子の伝え方を工夫しています。日頃の様子を伝えることで、保護者が子どもの成長をより楽しみにしてもらえるように取り組んでいます。			
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている			評点(〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している		○ 非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している		○ 非該当
評価項目9の講評			
地域資源を活用し、子どもたちがさまざまな経験ができる機会を提供しています 近隣の公園までの散歩の際、保育者は出会う人々に積極的に挨拶し、子どもたちの見本となるよう心掛けています。近隣の高齢者施設との交流も行っています。ハロウィン時期の訪問調査だったため、5歳児クラスの子どもたちが高齢者施設へ遊びに行きました。その際、子どもたちはハロウィンの声掛けを口々に発表していききました。また、5歳児クラスは系列園のプール指導や合同運動会に参加しています。 子どもたちが園の職員以外の人と交流できる機会を設けています 年1回、市の清掃局の職員にごみ収集車で来園してもらっています。ごみの分別やごみを減らす取り組みについて話をしてもらい、実際に収集車にごみを入れる体験をしています。また、同じく年1回消防署員には消防自動車で園に来てもらい、職員に対し消火訓練を指導してもらいました。また、高校生の職場体験や子育て支援員の研修の場としての受け入れを積極的に行い、子どもたちが職員以外の人と交流できる機会を設けています。運動会の練習の際には近隣の高齢者施設に入所している高齢者を園に招き、一緒に運動会本番を味わっています。			

調査対象

保育園を利用している72世帯を対象に調査を実施しました。在園児は85名で、兄弟姉妹が同園に通う世帯は年齢の一番低い子どもについて回答してもらいました。

調査方法

アンケート調査は無記名方式で、配付は施設を通じて利用者へ手渡し、回収は利用者から直接評価機関へ郵送、または密封して回収箱に投函してもらい、取りまとめました。調査結果は選択回答だけでなく、記述式の回答についても匿名性に配慮してまとめ、施設に報告しました。

利用者総数	85
利用者家族総数(世帯)	72
共通評価項目による調査対象者数	72
共通評価項目による調査の有効回答者数	35
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	48.6

利用者調査全体のコメント

保育園に対する総合的な感想は、「大変満足」が16人(45.7%)、「満足」が17人(48.6%)で「満足」以上の回答は合計33人(94.3%)でした。

自由意見には、「どの先生も、子ども一人ひとりをよく見てくれているという印象です」「先生方の対応、保育環境など、とても素晴らしいです」「担任だけではなく職員みんなで子どもを見てくれます。みんな名前を覚えており、声かけをしてくれ、安心感があります」「園の全体的な雰囲気が明るい」「どの職員の方も愛情を持って、子どもに接してくれている事を感じられます」「家だけでは経験できない事をたくさんさせていただけて、本人が行きたがっていることから、本当に感謝しかありません」など園への信頼と感謝を寄せる声が多く見られました。

項目別に見ますと、「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」「保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか」で100.0%、「保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっていくか」「病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか」で97.1%の保護者がそれぞれ「はい」と回答し、とても満足度が高い様子が読み取れます。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
コメント	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	35	0	0	0
「はい」が100.0%でした。 自由意見には、「保育園生活で、子どもの発達スピードも目に見えて進んでいると感じることができているので、とてもありがたいと思っています」「保育園に入ってから、子どもが成長したなど感じる事がとても多いので、先生たちが親身に保育をしてくれているのだからと感じます」「他の公園へ徒歩で行く機会が多いので、脚力がついて良いです」「トイレトレーニングも積極的に取り組んでくれて、ありがたく思います」などの声がありました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	34	1	0	0
「はい」が97.1%、「どちらともいえない」が2.9%でした。 自由意見には、「園外の公園やお散歩もあり、ほどよくイベントがあるのも嬉しいです」「ダンス、体操、サッカーなど色々な体験ができるよう、イベントを多く企画して下さいます」「戸外活動も多々あるので、子どもも楽しめています」「製作などに力を入れてくださり、ありがたいです」などの声がありました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	30	5	0	0
「はい」が85.7%、「どちらともいえない」が14.3%でした。 自由意見には、「手作りおやつで、配布される献立表を楽しみにしています」「献立を毎月、毎月工夫してくれていて、本当にありがたいです」などの声がありました。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	35	0	0	0
「はい」が100.0%でした。 自由意見には、「戸外での活動を積極的にしてくれています」「園庭は小さめですが、近くの公園に行ったり、ヤギを見に行ったり、いろいろな場所に行く工夫をしてくれていると感じます」などの声がありました。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	28	3	0	4
「はい」が80.0%、「どちらともいえない」が8.6%、「無回答・非該当」が11.4%でした。 自由意見には、「利用の機会がないためわかりません」などの声がありました。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	27	7	1	0
「はい」が77.1%、「どちらともいえない」が20.0%、「いいえ」が2.9%でした。 自由意見には、「駐車場は交通整理をしてくださり、安心です」などの声がありました。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	27	5	3	0
「はい」が77.1%、「どちらともいえない」が14.3%、「いいえ」が8.6%でした。 自由意見には、「親子参加や運動会など、一緒に参加できるものから、成果を見るものまでさまざま楽しいです」などの声がありました。 その一方で、「懇談会や引き取り訓練は、夕方の開催にしていきたい」という意見もありました。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	28	7	0	0
「はい」が80.0%、「どちらともいえない」が20.0%でした。 自由意見には、「先生が信頼できるので、安心して預けることができます」「先生方の年齢も幅広く、頼りになる事もたくさんあります。皆様、いつもていねいに対応してくださるので、安心して子どもを預けられると思っています」などの声がありました。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	33	1	0	1
「はい」が94.3%、「どちらともいえない」が2.9%、「無回答・非該当」が2.9%でした。 この質問に関連するコメントはありませんでした。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	31	3	1	0
「はい」が88.6%、「どちらともいえない」が8.6%、「いいえ」が2.9%でした。 自由意見には、「職員の皆さんがよく挨拶をしてくれます」「先生方がとても話しやすく、どんな事も相談できることに心が救われています。経験上のアドバイスもたくさんくださって、子育ての参考になっています」「子どもたちだけでなく、保護者に対しても、とてもていねいに対応してくれます」「先生方が皆、明るく話かけやすいので相談をしたり、普段の様子などをいろいろ話せます」などの声がありました。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	34	0	0	1
「はい」が97.1%、「無回答・非該当」が2.9%でした。 自由意見には、「専門職員さんに相談もしやすく、体調が悪くなった時も詳しく知らせてくれます」「お迎え時に、けがをしてしまった時の状況と、対応まで教えてくれます」などの声がありました。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	24	6	0	5
「はい」が68.6%、「どちらともいえない」が17.1%、「無回答・非該当」が14.3%でした。 自由意見には、「相談後、すぐに対応をしていただけて、ありがたかったです」「トラブルの理由も含めて話をしてくれるので、家でも話ができます」「トラブルの件を聞いたことがないから、わかりません」などの声がありました。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	31	3	0	1
「はい」が88.6%、「どちらともいえない」が8.6%、「無回答・非該当」が2.9%でした。 自由意見には、「同じ対応ではなく、個々に合った対応をしてくれているように感じます」などの声がありました。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	28	4	1	2
「はい」が80.0%、「どちらともいえない」が11.4%、「いいえ」が2.9%、「無回答・非該当」が5.7%でした。 自由意見には、「子どもでも人として恥ずかしいことは、そっと教えていただけるよう、気をつけていただけるとありがたいです」という意見がありました。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	31	3	0	1
「はい」が88.6%、「どちらともいえない」が8.6%、「無回答・非該当」が2.9%でした。 自由意見には、「写真などで保護者に対して分かりやすく伝えてくれて、とてもありがたく感じています」「その日の活動内容は、写真などですぐに知ることができます。家に帰るまで、子どもと園の話をしながら楽しく帰ることができます。その他にも、写真をたくさん使って貼り出してくれるので見るのが楽しみです」などの声がありました。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	28	4	0	3
「はい」が80.0%、「どちらともいえない」が11.4%、「無回答・非該当」が8.6%でした。 自由意見には、「すぐに動いてくださいます」などの声がありました。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	25	5	2	3
「はい」が71.4%、「どちらともいえない」が14.3%、「いいえ」が5.7%、「無回答・非該当」が8.6%でした。 この質問に関連するコメントはありませんでした。				

株式会社 学研データサービス
(福祉サービス第三者評価機関)

〒141-0031 東京都品川区西五反田2-11-8
TEL03-5436-8191 FAX03-5487-8810

●評価機関認証

東京都福祉サービス第三者評価機関認証
埼玉県福祉サービス第三者評価機関認証
千葉県福祉サービス第三者評価機関認証
神奈川県福祉サービス第三者評価機関認証
社会的養護関係施設第三者評価機関認証

